豊作

町田第二中学校 一年

山本 実世 やまもと みよ

ほら早く、遅れちゃうよ！

え？ 一体なんのために丘に向かって向かっているのかって？ そうかキミはこの村に来たばかりだったね。

この村にはある言い伝えがあるのを知っているかい？

うちの村は稲作が盛んなんだ。だから、田植えと収穫の時期はみんな大忙しさ！

うちの村のお米は少し特殊なんだ。

乾燥して出来上がった稲が白く光っているように見えたことはないかい？ まるでお星さまみたいだろう！

はじめは何が起こっているんだろうとびっくりするよね。まあ、そこが神秘的でいいんだけど！

この秘密はお米をつくる工程にあるんだ。

お米を収穫したあとに太陽の下で乾燥させるだろう？

でも、このお米は太陽の下で乾燥させるよりも、夕方から夜にかけて星空の下で乾燥させたほうがぐっと美味しく出来上がるんだ。

夕方に村のみんなで稲を運んで、地面いっばいに並べる作業は大変だけど、すごくやりがいがあつて楽しいよ！

キミも来年出来るといいね。

なぜ星空の下で乾燥させるのだと思う？

最近知ったことなんだけど、これは星神様の加護があるからなんだって！

ほら西の方に大きな神社が見えるだろう？ よく空が見えるから、花火大会のときによく集まってみていたなあ。

あそこには星神様という星を司る神様が祀られているんだ。

この神様は遠い昔、星空からこの村へ降り立ち一緒に稲作をして暮らしていた。そのことから星空の神、つまり星神様と呼ばれるようになったんだ。

神様と一緒に稲作ができるなんて楽しそうだと思うかい？ いいなあ！ 羨ましい！

教育長賞
山本実世「豊作」

今の星神様は宙の上から村のみんなを見守ってくれているから、会うことができないんだ。

でも何事にも例外があるだろう？ 星神様にだって例外がある。いつもは宙の上にいる星神様も一年に一度だけみんなに会いに来てくれる日があるんだ。

星神様は使いが彗星となり、それを地に送ることで、会いに来てくれるんだ。

今日はその、星神様が会いに来てくれる日なんだ！

ほら、もう目の前は丘だよ。みんなもう集まってるね。

年に一度の大イベント、キミも参加できてよかったね！

見て！ あの星空にいるのが彗星、星神様の使いだよ！

みんなここで今年の豊作のお礼と、来年の豊作をお祈りするんだ。キミも一緒にお祈りするといい。

今、不思議なものを見ている。夢なのかと目を疑うほどの光景だ。

数ヶ月前にこの村にやってきた。何やら今日は星神様という神様の使いがやってくる日らしい。

隣でまくしたてるようにこの村のお米と星神様の関係について話す彼女を横目に空を見上げた。

するとなんとということだろう。これまで趣味でプラネタリウムなどへ星を見に行つたため、彗星も一度や二度は見たことがあった。

しかし、こんな彗星は初めて見た。まさか、彗星が、お米になっているなんて…！

彼女が言うにはこの彗星はお米の形をしていることから「米ツト（コメツト）」と呼ばれているらしい。

驚きのあまり空を見上げたまま硬直していると、彼女は更にこう言った。

「星神様の使いが来た翌朝には、星神様のプレゼントが村中のポストに入っているんだ。

明日の朝、確認してみてね！ きつとびっくりするよ。」

翌朝ポストにはお米が一粒ちよんと入っていた。

教育長賞
山本実世「豊作」

審 査 員 講 評 *****

白く光って見えるお米と星を結び付け、星空の下で乾燥させた
特殊なお米というアイデアへ昇華された点がお見事でした。乾
燥させている光景も浮かんで来て、ロマンを感じます。途中で
語り手の視点が変わる構成も素晴らしいです。「米ット」という
言葉遊びもじつに愉快で、ラスト一文もなんて夢があつて素敵
なんだろうと、長く余韻に浸りました。

—— 田丸 雅智